

生命・わが家・わがまちを守る
白根市防災訓練

TOPICS

まちの話題



袋の紐まで砂を詰めて土のうを作り直す



三角巾で応急手当

毛布で作った簡易担架

七月一日、白根地区の旭町および桜町地区で、大雨による浸水被害を想定した白根市防災訓練が行われた。これは、平成十年八月四日と十二日、そして昨年七月十五日に下越地区を襲った集中豪雨で、床上浸水など大きな被害を受けた同地区で行われたものです。訓練には地域住民、白根市、白根地域消防署、消防団、白根警察署をはじめ、市と防災協定を結んだ白根郷建設業協会ら約三百人が参加しました。

防災訓練は「七月一日、午前七時半に大雨洪水警報が発令され、大雨による土砂災害や低地の浸水被害の恐れがあり、河川の氾濫を警戒する中、旭町を中心に浸水被害が開始した」という想定で行われました。

市職員の招集や関係機関への連絡などが行われ、午前八時二十分、桜町地区に吉沢市長を本部長とする現地対策本部を設置。住民への広報訓練、交通規制をかけて車を誘導する交通整理訓練、防犯のための地域巡視訓練や、消防団のポンプを使った排水訓練などが行われました。

また、地域の皆さんも土のう積み訓練に参加。雨の降る中、みんなで協力し合って土のうを作り、運びました。

白根郷建設業協会と災害応援協定を締結

市は白根郷建設業協会（安達尚志会長）と、災害の予防、応急対策や災害復旧に関する応援を要請する「災害時の応援業務に関する協定書」を取り交わしています。具体的な応援業務は、水害や地震などの災害発生時に建設業者から排水ポンプや土のう用の砂などの資材の提供やあつせん、公共施設の被災状況調査と被害施設の応急対策工事などの応援を要請するものです。

これまでは被害が発生してから応援を要請していましたが、あらかじめ連絡体制などを整備しておくことで、より迅速な対応が図ることができそうです。

そのほか、消防署員による三角巾を使った応急手当、毛布やTシャツなどを使った簡易担架の作り方など、救急訓練や避難訓練が行われ、地域と一体となった総合的な防災訓練となりました。

毎年、世界各地に大きな災害が発生しています。本市もまた幾多の水害と闘ってきました。もしも、大雨が降り出したら、私たち自身で素早く判断したり、避難を急いだりしなければなりません。いざというときは的確にかつ迅速に対応し、地域で力を合わせて生命、わが家、わがまちを守りましょう。

防災訓練反省検討会

七月九日、吉沢市長、桜町と旭町の自治会代表、関係機関らが出席し、防災訓練反省検討会が行われました。同会での主な意見等は次のとおりです。

自治会代表者
・土のうの作り方、三角巾の使い方や簡易担架を作った救急看護訓練。実際に体験して参考になった。

・市役所へ電話しても「担当じゃないから分からない」などと言われた。そのようなことのないようにしてほしい。

・浸水したとき、車が走ると波が家の中へ入る。一刻も早く通行止めにしてほしい。

関係機関等
・住民へ情報を伝えて不安をなくすため、現地対策本部で市の情報を広報したり、住民の連絡場所として活用したりすれば、より実践的なものになった。

・放水のホースの上を通過した車が見られた。放水中に車が通行できるホースブリッジの適正配備を。

・連絡の際、受信または発信した人の名前を確認することが必要。また、何かあったときにどうすればいいのか、それぞれのケースに応じたマニュアルの作成を。

スポーツで交流を深める

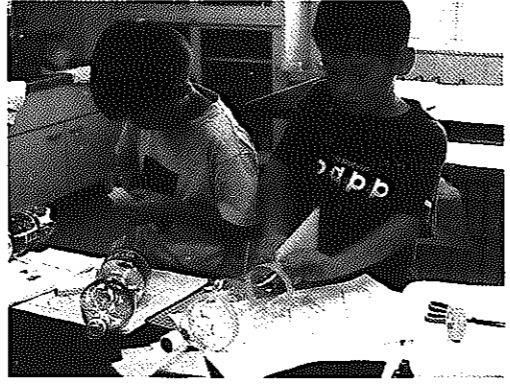


七月八日、カルチャーセンターで、身体に障害を持つ人たちがスポーツを通じて体力の維持・向上と交流を深めることを目的に「第三十九回県身体障害者体育大会第2地区大会」が行われました。

大会には新津市、五泉市、東蒲、中蒲、白根市の五チーム約二百三十人が参加。地元のボランティアの熱い声援の中、ぎる引き競争やパン食い競争など八種目に熱戦が展開されました。大会結果は五泉市チームが優勝し、白根市チームは惜しくも準優勝でした。

第39回県身体障害者体育大会
第2地区大会

ロケットを飛ばそう



七月十四日、白根学習館の理科センター研修室で、ペットボトルロケット作り教室が開かれました。

この教室は、今月十九日に行われる市民まつり「信濃川の陣」のペットボトルロケット大会で打ち上げるロケットの作成のために開かれたものです。三十四人の参加者は指導を受けながら、持参したペットボトルを使って、水ロケットを完成させました。最後は屋外で本番前の試験的な打ち上げが行われ、勢いよく水しぶきを上げながら飛ばすロケットに、歓声が上がりました。

ペットボトル
ロケット作り教室

おはなしの世界へようこそ



七月七日、しろね図書館の「おはなしのへや」で、定例おはなし会が行われました。おはなし会は図書館が毎週開催しており、絵本やおはなしを通して、子どもたちと本の出会いの場をつくるために開かれています。

今回は吉沢市長が絵本「たなばた」を、栗村図書館長がおはなし「ひばりの草履」を読み聞かせ。集まった子どもや親子三十人は市長と館長の声に耳を傾け、話の世界に浸っていました。このほか「たなばた」を歌ったり願いごとを折ったり、子どもたちは楽しい七夕を過ごしました。

しろね図書館
おはなし会

少年剣士200人が競い合う



大郷・鶯巻・根岸・大通地区公民館と同地区の少年剣士が活動する「北翔館」が共催した第十七回大郷近郷親善剣道大会が、七月八日、大郷小学校で行われました。大会には近隣市町村から選手二百人が参加。日ごろの練習の成果を競い合いました。

大会結果「団体戦」中学男子 ①白井中②白根北中A③同B 小学生高学年 ②白井剣士会③北翔館A小学生中低学年 ③北翔館A「個人戦」中学生男子 ②石黒智之（白井中） 中学生女子 ③門司遥（白根中）④若杉ゆきの（同） 小学生高学年 ②江川力（雄心館）③安田光（白井早月剣）③蝶名林睦（北翔館）

第17回大郷近郷親善剣道大会